

大本営とNHK

NHKの運営は「経営委員会」に置かれている。経営委員会が「監査委員会」の委員およびNHK会長、副会長を含む「理事会」理事の人事権を握っている。そうすると、経営委員会委員を誰がどのように決めるのが問題となる。

「放送法」の条文では、第三十一条に「両議院の同意を得て、内閣総理大臣が任命」との定めがある。つまり、NHKは完全に内閣総理大臣の人事権の下に置かれているのです。

したがって、NHKが政治権力に対して、批判精神を発揮することは、もとより不可能なのです。

「放送法」は、第一条第二項で、「放送の不偏不党、真実及び自律を保障すること」によつて、放送による表現の自由を確保すること」との条文を持つ、また、放送番組の編集について、第四条に、政治的に公平であること。四、意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。との定めを置いているが、NHKが人事権を含めて、

完全に内閣総理大臣の指揮下に置かれている以上、NHKが政治権力を中立、公正の立場から批判することは、そもそも不可能なのであります。

NHKの放送事業を支えているのは、市民の放送受信料なのですが、いかにNHKニュースや教養、娯楽番組が他局に才出していない、編集が公正公平とは限らないのです。

魂を売り渡した報道機関は、これからも国策（対米追随）を続ける限り日本は「敗戦」を重ねていくのです。

日本に於ける農村部の最後の共同体「農協」の解体、



日本に於ける農村部の最後の共同体「農協」の解体、

事務所からのお知らせ

2月の土曜日は午前中出勤です
3月3日と10日の土曜日は営業です
3月16日~21日まで代休日です

第一の目標が農業と食料、外資に宅地も山林も取得制限はない。残る聖域は農地法という農地だけである。第二の目標は、医療と薬品。保険診療と保険外診療の明確化と混合診療。未承認薬に保険が効かない。健保の解体。TPPで米国が最初から狙っているのは日本国民の金融資産です。

基本ソフトの更新

幸せは空の上。
時代の風は…。
追い風、向い風、横風、揚げ風、下げ風。
希望や夢が見えない社会だ。
風も見えない。
行く先も見えない。
風には国境がない。
だから流れはわかる。
どこへ流されるのだろう。
風まかせだ。
神話と権力の嘘に騙される体質は、戦後の白人支配にまみれた卑しさと同質でしょう。
唯一、先進国で四季が鮮やかな国で育まれた国民を、戦後の支配者が蹂躪した。
今日も現政権を含め、提灯をかざし続けているのです。
未来に希望が薄いの、早く基本OS（憲法）を変えねばならない。
真の復興は、支配者からの独立だ。